



スペシャルオリンピックス日本 ユニファイドスポーツ・アンバサダー 有森裕子と走る

スペシャルオリンピックス日本 チャリティ・ランイベント

第 8 回ユニファイド・エールラン

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本は、チャリティ・ランイベント「第 8 回ユニファイド・エールラン」を開催します。

エールランとは、ランナーの参加費が知的障害のある人たちを応援するスペシャルオリンピックス日本への活動資金となるチャリティ・ランです。今回、第8回目となるエールランは、2026年に東京都にて開催する「2026年スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・東京」の大会開催をはじめとしたスペシャルオリンピックス日本の活動資金に活用いたします。

【タ イ ト ル】 スペシャルオリンピックス日本 チャリティ・ランイベント
第8回ユニファイド・エールラン
～ Road to 2026 東京大会 ～

【目 的】 ① スペシャルオリンピックス・ムーブメント拡大
- 日本でのスペシャルオリンピックスの認知度が低いため、イベントを開催し、参加者へ活動の理解、認知していただきます。
② ユニファイドスポーツの普及
- 知的障害のある人となない人が一緒にチームを組み競技を行う
ユニファイドスポーツを通じて、お互い個性を理解し合う機会にさせていただきます。
③ 「2026 年スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・東京」大会開催
- エールランの参加費は、大会開催費として活用させていただきます。

【日 程】 2026 年 4 月 4 日(土)

【会 場】 シンボルプロムナード公園（お台場）

【プログラム】	3 時間リレー	200 チーム（1 チーム:3 名～10 名）	5,000 円/人
	3 時間ユニファイドリレー	25 チーム（1 チーム:3 名～10 名）	5,000 円/人
	親子ラン	150 組（1 組:大人 1 名、子供 1～2 名）	3,000 円/組

【ボランティア】 100 名(予定)

【参加著名人】 有森 裕子 （ユニファイドスポーツ・アンバサダー）
平岡 拓晃 （スペシャルオリンピックス日本 理事長）
※ その他ゲストも調整中

【特設サイト】 <https://sonippon.my.canva.site/unified-yell-run>

【主 催】 公益財団法人スペシャルオリンピックス日本

【協 賛】 ライオンズクラブ国際財団

【後 援】 江東区、一般社団法人 東京臨海副都心まちづくり協議会

【申込ページ】 <https://runnet.jp/entry/runtes/user/pc/competitionDetailAction.do?raceId=382893&div=1>

【申 込 締 切】 2026年3月2日



【種 目】

① 3 時間リレー (定員:200 チーム・参加費:5,000 円/人)

- 1 チーム 3~10 名での登録(小学生以上)
- 1.5km の特設コースを周回
- 完走証あり / 計測あり / 表彰あり

② 3 時間リレーユニファイド (定員:25 チーム・参加費:5,000 円/人)

- 知的障害にある人と知的障害のない人の混合チーム
- 1 チーム 3~10 名での登録(小学生以上)
- 1.5km の特設コースを周回
- 完走証あり / 計測あり / 表彰あり

③ 親子ラン (定員:150 組・参加費:3,000 円/組)

- 大人 1 名 + 子供(3 才~小学生) 2 名まで
- 1.5km の特設コースを 1 周し、手を繋いでゴール
- 完走証あり / 計測あり

【スケジュール(予定)】

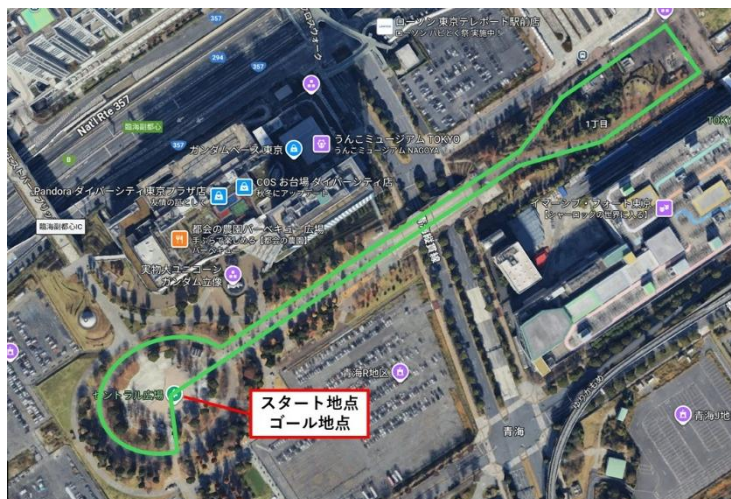
<午前の部>

- | | |
|---------|----------|
| 9:00 ~ | 受付開始 |
| 10:00 ~ | 開会式・準備体操 |
| 10:30 ~ | 親子ラン |

<午後の部>

- | | |
|---------|---------------|
| 10:30 ~ | 受付開始(3 時間リレー) |
| 11:30 ~ | 開会式・準備体操 |
| 12:00 ~ | 3 時間リレー |
| | 3 時間リレーユニファイド |
| 15:15 ~ | 表彰 |

【コースマップ(予定)】



■ 自閉症啓発デーとは

自閉症啓発デー(World Autism Awareness Day)は、毎年 4 月 2 日に世界中で実施される国際的な記念日です。2007 年に国連総会で採択され、2008 年より正式に始まりました。

この日は、自閉症スペクトラム障害(ASD)への理解を深め、偏見や差別の解消を目的としています。教育、就労、社会参加など、日常生活のさまざまな場面で自閉症のある方々が直面する課題に目を向け、誰もが自分らしく生きられる社会の実現に向けて考える機会となっています。

